

2004年度 Block. 6

課題 No. 6

課題名：禁煙しないとダメ？



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることありますのでご注意ください。

シート 1

木村 剛さんは55歳。会社の健診の結果、精密検査を受けました。そういえば最近、駅の階段で息切れが多く、咳が続くことが気になっていました。

抽出事項

- ・ 会社の健診の結果、精密検査を受けた
→職場健康診断について理解し説明できる (C-1)
- ・ 息切れ、咳が続く
→息切れ、咳という症状から診断仮説をたて、鑑別診断を行うことができる。(A-1)

シート 2

肺に影が見つかった木村さんは、病院でたくさんの検査を受け、次回診察時に病気についての詳しい説明があるとされました。

抽出事項

- ・ 肺に影が見つかった木村さん
- ・ 病院でたくさん検査を受けた
→胸部 X 線写真の所見を読影できる (A-2)
どのような情報を得たいか、どのような検査が必要か具体的に挙げる。必要に応じて供覧
- ・ 次回診察時に病気についての詳しい説明がある
→悪性疾患の病名告知の問題
(担当医から患者さんと家族に説明をしている設定で学生にロールプレイをしてもらう。)

供覧 患者病歴と理学所見

胸部 X 線写真 (正常、患者術前)

心電図 血算、血液生化学、肺機能検査所見、動脈血ガスデータ

胸部 CT 写真

シート 3

先生から手術をしたほうが良いと言われました。手術をするとタバコが吸えなくなるのかと、木村さんは憂鬱になりました。

- ・ 手術をしたほうが良いと言われました
→肺がんの一般的治療について述べる事ができる (B-1)

シート 4

手術の日も近づいたある日、麻酔科外来を受診しました。麻酔科の先生から、麻酔の詳しい説明を受けた後、手術に向けて禁煙が必要であることと、呼吸の練習をするように言われました。

抽出事項

- ・ 麻酔科外来、麻酔の詳しい説明
→肺手術の麻酔管理について理解し説明できる (B-2)
供覧；ダブルルーメン気管内チューブ写真
- ・ 手術に向けて禁煙が必要である、呼吸の練習
→肺手術の周術期合併症を理解し、説明できる (A-3)
→喫煙の肺機能に及ぼす影響について理解し説明できる (C-2)

シート 5

心配された術後の肺合併症もほとんど無くすみ、通院治療することになりました。一大決心をして手術後も禁煙を続けています。手術の傷の痛みはまだ残っていますが、手術から3年が経ち少し安心していたころ足の痺れと痛みが出てきました。通院の回数が増え、会社の仕事もやりくりが大変になっています。

抽出事項

- ・ 手術の傷の痛みはまだ残っています
→術後疼痛と開胸後カウザルギー
- ・ 足の痺れと痛み
→がん性疼痛に対する治療法を理解し説明できる (B-3)
供覧；腰椎 MRI 所見
- ・ 通院の回数が増え、会社の仕事もやりくりが大変
→壮年期の罹患による、社会的、経済的影響について
理解できる (C-3)

シート 6

検査で多発転移が見つかり、再度入院して治療を行うことになりました。治療や痛み止めの薬を使い始めて徐々に症状は軽くなっていきました。桜が咲く頃には、在宅治療できそうなので、いろいろな手続きをしながらも春が待ち遠しい木村さんです。

抽出事項

- ・ 多発転移が見つかり、再度入院して治療を行う
→肺がんの一般的治療について述べる事ができる (B-1)
- ・ 痛み止めの薬を使い始めて徐々に症状は軽くなっていきました
→がん性疼痛に対する治療法を理解し説明できる (B-3)
- ・ 在宅治療できそうなので、いろいろな手続き
→壮年期の罹患による、社会的、経済的影響について
理解できる (C-3)